

公明党議員団

池田 謙次・藤田 広美・神山哲太郎
大西 厚子・大野 正和



池田謙次
議員

①「デジタル方式の防災行政無線」の進捗状況と地域別の災害や不審者情報の発信に活用すべきとの提案をしました。

②「新型コロナウイルスの予防接種」への助成を提案しました。

③「度重なる各地域での「不審者」の多発を踏まえて「防犯カメラ」

早期設置を求める提案をしました。

④「悲しみの中、遺族の方が手続きに時間がかかり、ある意味「たらいまわしになった」との苦情の声も踏まえ、「もう少し早く窓口で

速やかにできないものか」などと

「死亡時の相談窓口のワンストップ化」の提案をしました。令和3

年1月から、予約制も導入した上で新スタートを切ります。これで、

ご遺族の負担も軽減され、職員の仕事負担も軽減されます。



藤田広美
議員

総務委員会にて企業版ふるさと納税のメリットについて質疑しまし

た。企業側は法人関係税の控除と地域への社会貢献が実現できます。寄付をいただく際には、企業のイメージアップに向け、可能な限り大きくPRするなど次の呼び水になるよう工夫し、自治体側は、財源調達の新たな選択肢となり、地方創生の推進力になると答弁がありました。

また、企業が応援したくなるテーマの設定と現状の受け入れ状況の質疑に対して、対象を幅広くし、

テーマの希望があれば複数の事業を提案できること、複数の企業と協議をしている一件は近日中に公表できると答弁がありました。この事業により地域課題の解決に繋がっていくことを願います。

①避難所と感染症対策について

3密防止の観点からホテルや旅館など新たな避難所の確保が必要と質問し、分散避難なども考慮し

市民周知していくとの答弁がありました。また、防災出前講座がでない状況ではあるが市民向けに



神山哲太郎
議員

動画などを作成し配信していくように求めました。

②児童生徒の健診データの活用については、文科省での検討会では児童生徒の健康診断情報の電子化を進めています。苦小牧市としてどの様に推進する予定なのか質問し、各小中学校の利活用の状況を踏まえ検診に関するデータが活用できるか研究したいとの答弁がありました。

聴覚障がい者の意思疎通支援について、新型コロナウイルス感染症予防対策として、タブレットを介して手話通訳をする遠隔手話サービスの充実を求めました。

あいサポート運動の充実に向けた内容を提案し、研修目的が損なわれない範囲で独自の内容を企画していくと答弁がありました。

障がい者の防災について、市の防災ハンドブックの「防災対策のススメ」に、障がいのある方の自助に関わる内容を速やかに盛り込むと答弁がありました。

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会にて、(仮称)市民ホールの要求水準書の素案の中に、「子どもの遊び場設置」との表現を書き示すと答弁がありました。

各種税金と水道料金のクレジットカード決済の進捗状況を質問し、令和3年度導入に向けて進んでいることを確認と同時に電子マネー決済の導入を求めました。

屋内ゲートボール場の利用状況はテニスほか多目的になっていることを指摘し、名称変更と施設の改修の必要性を説き、使用が少ない和室を含めて全面的に市民ニーズに合う改修を提案しました。令和4年度の指定管理者の更新に合わせて多目的競技の練習施設に改修することを目指していたことと、コロナ禍の今後の予算状況で改めて時期、内容の検討が必要であると答弁がありました。

心のバリアフリーを市内中で呼びかける取り組みと、若者の雇用対策のさらなる推進も求めました。



大西厚子
議員

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会にて、(仮称)市民ホールの要求水準書の素案の中に、「子どもの遊び場設置」との表現を書き示すと答弁がありました。

各種税金と水道料金のクレジットカード決済の進捗状況を質問し、令和3年度導入に向けて進んでいることを確認と同時に電子マネー決済の導入を求めました。

屋内ゲートボール場の利用状況はテニスほか多目的になっていることを指摘し、名称変更と施設の改修の必要性を説き、使用が少ない和室を含めて全面的に市民ニーズに合う改修を提案しました。令和4年度の指定管理者の更新に合わせて多目的競技の練習施設に改修することを目指していたことと、

コロナ禍の今後の予算状況で改めて時期、内容の検討が必要であると答弁がありました。

心のバリアフリーを市内中で呼びかける取り組みと、若者の雇用対策のさらなる推進も求めました。

各種税金と水道料金のクレジットカード決済の進捗状況を質問し、令和3年度導入に向けて進んでいることを確認と同時に電子マネー決済の導入を求めました。

屋内ゲートボール場の利用状況はテニスほか多目的になっていることを指摘し、名称変更と施設の改修の必要性を説き、使用が少ない和室を含めて全面的に市民ニーズに合う改修を提案しました。令和4年度の指定管理者の更新に合わせて多目的競技の練習施設に改修することを目指していたことと、

コロナ禍の今後の予算状況で改めて時期、内容の検討が必要であると答弁がありました。

心のバリアフリーを市内中で呼びかける取り組みと、若者の雇用対策のさらなる推進も求めました。



大野正和
議員